

全世界の約 24 億人 (41%) が 1 日 2 ドル以下、12 億人 (21%) が 1 日 1 ドル以下の極度の貧困状態 (2010 年 by 世界銀行 Povcal Net) の中で生活し、しかも富裕国と貧困国との格差は一貫して拡大し続け、先進国内の貧富の差も拡大し続けている現状において、貧困や格差の問題、如何に発展していくかは国際政治経済問題の大きな領域である。本講義では、貧困問題の概説、アジアを中心に第三世界都市貧困の現状、貧困者自身の様々な創意工夫のある試み・主体的運動及びその可能性、貧困解消に取り組む住民・NGO・国家・国際機関の役割について、貧困者の視点から現実を紹介しながら論じる。また、時間の許す限り日本国内での貧困問題についても言及したい。

【評価方法】出席及び試験で評価する。なおブックレポートを提出したものは 20 点の加点。

【参考書】 幡谷則子、下川雅嗣 [編著] 『貧困・開発・紛争：グローバル／ローカルの相互作用』 (地域立脚型グローバル・スタディーズ叢書第 3 巻) 上智大学出版会・2008 年。

*その他の参考文献は、参考文献表及びその都度紹介する。

【授業計画】 (下記は主な項目予定であり、必ずしもこの順序で進めるとは限らない)

1. イントロダクション、貧困の定義
2. 第三世界(発展途上国)の貧困問題概説 (課題、リソース)
3. 第三世界(発展途上国)の貧困問題概説 (データ)
4. 貧困と格差 (不平等)
5. アジアの都市貧困層の現状と開発政策における位置付け

<アジアの貧困者の厳しい現実>

6. アジアの都市貧困層の厳しい現実：強制排除の概要、都市 (再) 開発と貧困層の排除
7. アジアの都市貧困層の厳しい現実：政府開発援助と貧困層の排除、居住権について

<アジアの都市スラムの人々の可能性>→タイ、インド、パキスタン、カンボジア、インドネシア、フィリピン、韓国等の事例を中心に。

8. アジアの都市スラムの人々の可能性 I:土地・住居へのアクセス
9. アジアの都市スラムの人々の可能性 II:貧困者居住運動
10. アジアの都市スラムの人々の可能性 III:信用・市場へのアクセス
11. アジアの都市スラムの人々の可能性 IV:貧困者経験交流、エンパワーメント
12. アジアの都市スラムの人々の可能性 V:貧困者のスペースの拡大と People's Process
13. 貧困者の歩み (People's Process) の発展：新たな発展 (開発) モデルを求めて I
14. 貧困者の歩み (People's Process) の発展：新たな発展 (開発) モデルを求めて II